

連載

文化財を巡る

No.49



「川満大殿の古墓」

川満大殿の古墓は、下地洲鎌の国道三九〇号線沿いの洲鎌農村公園に隣接した場所にあります。現在は、鬱蒼とした木々に囲まれています。ミヤカ独特の形態である石囲いと石棺が残されています。

川満大殿の古墓の石囲いに使用されている石は、全て琉球石灰岩です。使用されている石は、1メートル以上のものがほとんどで、伊良部島のスサビミヤカ、来間島のスムリヤミヤカとならび宮古島市内でも規模の大きなミヤカの一つです。石囲いは、二〜三段に積まれており、部分的に隅欠きとよばれる石と石を組み合わせる技術が用いられています。これだけ大きな石灰岩を切り出す技術は、一六世紀以前には見られないもので、鉄を用いて石切を行う技術が、この時代に宮古島にもたらされたと考えられています。また、石囲いの外側と内側では非常に僅かですが、長さが異なる台形型の形態をしています。これは、大きな石灰岩を直線的に配置するために、意図的に長さを変えたもので、隅欠きも含め、ミヤカのような巨大な石造建築物のルーツを考える上で、重要な技術の一つであるといえます。

川満大殿の古墓は、一五〇〇〜一五五〇年ごろ築造されたものといわれています。川満大殿は、トラ年の人と言われ、一四五八年の生まれと考えられています。平民として生まれた川満大殿でしたが、当時の宮古の首長の仲宗根豊見親に認められ、下地の首長に任じられます。川満大殿は、仲宗根豊見親の命を受け、ベウツ川の掘割工事を行い、嘉手苅南部の水溜まりの汚水を排出して病原をたちました。また、与那覇湾の加那浜で一大土木工事を行い、橋道を整備して人々の往来の苦難を取り除きました。

その他にも、石垣島のオヤケアカハチの征討や、与那国島の鬼虎の征討にも従軍し多くの戦功をたてたと言われます。

石囲いの内部には、2基の石棺が残されていますが、現在では、内部の状況が確認できません。川満大殿の古墓には、川満大殿と妻を葬ったといわれており、二基の石棺はこの二人が葬られていると考えられます。

※ミヤカの石積みや石棺は非常に損壊しやすいものですので、石の上ののったりしないで下さい。

川満大殿の古墓





鏡原少年野球チーム優勝報告

第25回JTA旗先島地区学童野球大会で優勝した、鏡原少年野球チームが4月30日（金）大城教育長に優勝報告を行いました。

以下、鏡原少年野球チームの紹介です。

鏡原少年野球は、来る7月30日～8月4日に徳島県で開催される阿波おどりカップ2021学童軟式野球大会へ派遣されることとなりました。

現在、コロナ禍の中でも野球ができる喜びと感謝を胸に日々練習に励んでおります。

部員数22名（小学1年生から6年生）で活動しているチームの活動方針は、大きく分けて3つです。

1. 全力で野球に取り組む

野球の基礎技術の習得はもちろん、短時間練習で集中力を切らさずに全力で野球に向かう。

元気に声を出し、一つ一つのプレーを丁寧に実行し、自分にできることを精一杯に取り組む。

2. 礼儀を心掛ける

多くの方々に支えられて野球ができることに感謝し、感謝の気持ちを持って元気なあいさつを心掛ける。わからないことは皆で教え合い、励まし支え合う。

また、野球道具へも感謝の気持ちを忘れず、道具を大切に整理整頓を心がける。

3. 失敗を怒れず、何事にもチャレンジする

失敗してもくじけず、粘り強い選手として次の展開に繋がられるよう、最後まで諦めず全力で取り組む。

これらの方針のもと、子どもたちとのコミュニケーションを一番大切に、厳しく丁寧に声を掛けながら指導にあたっています。

そして、日々の成長を陰で支えるため、週末の練習日には父兄が子どもたちのサポートに入り、グラウンド整備・環境整備等保護者も一緒に関わり、休憩にはお母さん達からの差し入れを囲んで親子で笑い合う等、楽しみながら活動することを大切にしています。

支えてくださる多くの方々、先輩・後輩たちに感謝の心を忘れず、全国大会のレベルへ挑戦し、更に成長できるよう、今後も練習に励んでいきたいと思っております。



春の交通安全運動 新1年生に防犯グッズ寄贈

4月2日、春の全国交通安全運動出発式が行われ、宮古島警察署・宮古島地区交通安全協会・交通安全推進協議会より、新1年生へ安全グッズのランドセルカバーとレッスンバッグ、防犯ベルが寄贈されました。

出発式では、新1年生代表の友利新菜さん（東小）と西里亜偉斗さん（南小）が交通ルールの遵守を大きな声で宣誓しました。



TOPICS

新1年生へ文房具を寄贈

4月2日、宮古島観光協会・住宅情報センター・アリカワコウヘイ！さん（現代美術作家）より、新1年生にえんぴつとクリアファイルが寄贈されました。

えんぴつとクリアファイルにはアリカワさんが宮古をイメージして作成した観光協会の新マスコットが描かれています。



商工会議所青年部より絵本を寄贈

5月31日、宮古島商工会議所青年部より、教育委員会へ渋沢栄一プロジェクトで制作された絵本「お金ってなあに？」が寄贈されました。

寄贈された絵本は各小中学校と市立図書館へ配布されています。



幼稚園・小学校へ絵本寄贈

絵本の原作者である西野亮廣さんから「コロナ禍にあって不安を抱える宮古島を元気にしたい」との計らいで市立幼稚園、小学校の児童に一人一冊ずつ約4,000冊が寄贈され、4月30日（金）北小学校にて宮古島パール実行委員会より絵本「えんとつ町のプペル」の贈呈式が行われました。

砂川靖夫校長は「読書をし、人生の支えとなる大切な一冊に早く出会おうようにと児童に常に伝えており、その一冊になるかもしれない」と感謝を述べました。

また、4年生の下地咲笑さんは「映画は見たけど本で読むとまた違うはずなので楽しみ。私もプペルみたいに困った人を助けられる人になりたい。」と話していました。



未来創造センターで津波防災訓練

1771年4月24日に発生した乾隆36年大波けんりゅう※から250年の節目にあたることから、4月23日に未来創造センターにて津波防災訓練が行われました。今回の訓練は、宮古島・八重山地方に大津波警報が発令され、宮古島海上保安部の活動拠点である港湾合同庁舎が津波で被災し機能不全に陥った場合を想定したものです。

訓練内容は、宮古島海上保安部の代替拠点に位置づけられている未来創造センターへの資機材搬入及びオペレーション立ち上げ、また所属巡視船艇との通信訓練などが実施されました。

宮古島市と宮古島海上保安部は令和2年12月に未来創造センターの使用に係る協定を締結しており、今回の訓練は本協定に基づいて未来創造センター開設後初めて行われました。



※「明和の大津波」ともよばれる

クイズの



前回の答え ハーモニカ

食べ物の問題です。
正解めがしてチャレンジしてね!

カレーライスにそえられる「福神漬け」の野菜はなに？

- ①トマト
- ②じゃがいも
- ③大根



7月 8月

おはなし会 ※予定

○宮古島市立図書館

・毎週土曜日 15時～

○城辺図書館

【7月】

・7月4日(日)15時～

【8月】

・8月1日(日)15時～



※コロナウイルスの影響により予定を変更または中止する場合があります。ご了承下さい。

市総合体育館・陸上競技場等利用スケジュールについてお知らせ

- ・市総合体育館 ・市陸上競技場
- ・市多目的前福運動場 ・市多目的屋内運動場
- ・市民球場



<https://miaspo.net/>



上記市立体育施設のスケジュール・施設使用の詳細・ご利用方法については直接お問い合わせいただくかホームページ(上記)

(一社)宮古島市スポーツ協会
【第2・第4月曜休み】 ☎73-4469

令和3年度 教育委員会の開催状況

第1回宮古島市教育委員会(定例会) 4月22日(木)開催

宮古島市教育大綱の策定について提案されました。

第2回宮古島市教育委員会(定例会) 5月27日(木)開催

下記の議案について審議を行い、4件の議案、1件の報告、1件の提案について可決・承認されました。

件名	提案理由
令和3年度一般会計(教育委員会)補正予算第1号予算要求について	令和3年第4回宮古島市議会(定例会)に提案する「令和3年度宮古島市一般会計補正予算(第1号)」に教育委員会関係予算を計上するため
宮古島市教育支援委員会規則の一部改正について	近年の就学支援申請件数増加に伴う保護者面談件数の増加に鑑み、保護者面談を行う委員の定数を増やす必要がある
現職教職員の大学への派遣及び補助金交付要綱の制定について	福井大学大学院 福井大学、奈良女子大学、岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科への教職員の派遣に関する規定を定めるとともに、補助金を交付するには、要綱を制定する必要がある
宮古島市教育委員会職員の人事異動について	教育委員会職員の人事異動について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第3号の規定により承認を得る必要がある

- ・公用車の事故にともなう専決処分の報告について
- ・宮古島市教育大綱の策定について

子育てや学校生活で悩んでいませんか？

教育相談室では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎ 79-7819

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】月～金曜日(祝祭日除く)午前8時30分～午後4時30分

【所在地】宮古島市平良字西里1140番地 総合庁舎内

※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)

